



＜お取引先様へのご説明資料＞

責任あるサプライチェーン構築に向けた 「CSR調達基本方針」に関するご説明

2022年12月
株式会社 神戸製鋼所
サステナビリティ推進委員会
機材調達部

1. はじめに

2. CSR調達基本方針

i. 背景

ii. CSR調達基本方針の内容

3. ご連絡事項

動画メッセージ

1. はじめに

2. CSR調達基本方針

i. 背景

ii. CSR調達基本方針の内容

3. ご連絡事項

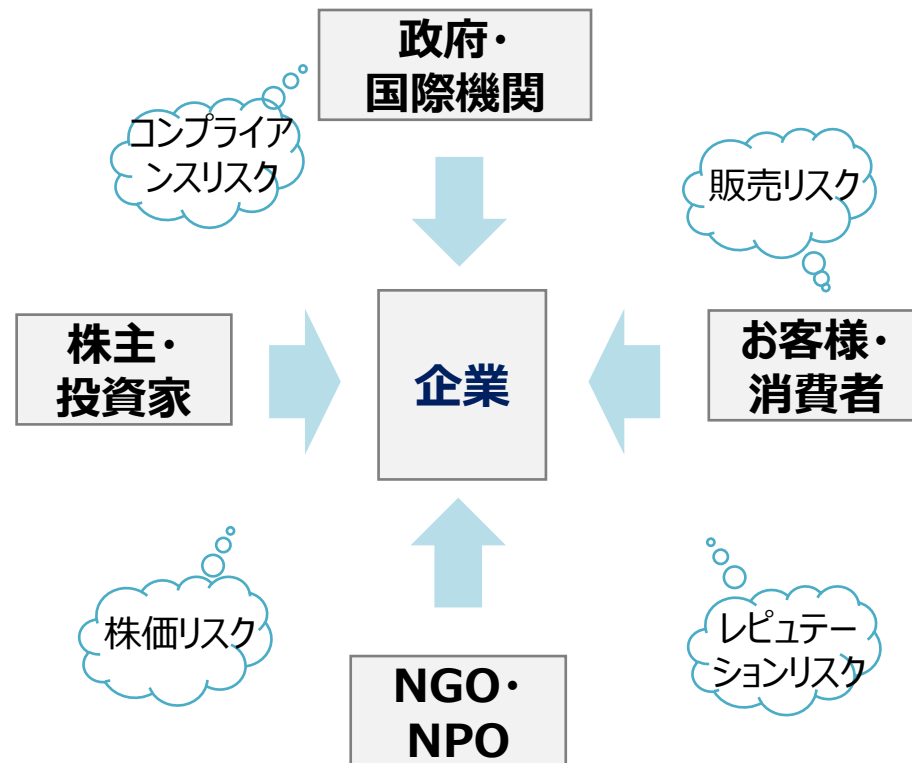
i. 背景： 企業とサプライチェーンの歴史と構造

◆ サプライチェーンに関する**企業の社会的責任**は強く求められるようになっており、一方、責任を果たしていないと見なされた場合に企業の信用やブランド価値を低下させるいわゆる**レピュテーションリスク**も大きくなっている。

～歴史的経緯～

1980年代～	1990年代～	2000年代～
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 欧米：企業不祥事等を背景に、コーポレートガバナンスの中でCSRの議論が展開される。 ➢ 日本：プラザ合意後の円高進行と企業の海外進出に伴い、労働環境の見直しに動く。バブル経済に後押しされ、フィランソロピーやメセナ活動も盛んに。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 欧米：多国籍企業が引き起こす社会、環境、経済的問題が多発し、途上国における労働条件や人権への配慮に関心高まる ➢ 欧米：市場や政府に代わるNGOやNPOの組織化、ネットワーク化が活発化。企業製品の不買運動の扇動、企業の批判、監視、評価に影響力を与える存在に。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 欧米：社会的責任投資の拡大 ➢ 2013年：有名アパレルブランドの受託生産を行う縫製工場が入居する Bangladesh シュ商業ビルの崩落 ➢ 日本：2003年がCSR元年

～現在の構造(ステークホルダーとの関係性)～



KOBELCOグループのサステナビリティ経営

グループ企業理念

KOBELCOが実現したい未来

“安全・安心で豊かな暮らしの中で、
今と未来の人々が
夢や希望を叶えられる世界。”

KOBELCOの使命・存在意義

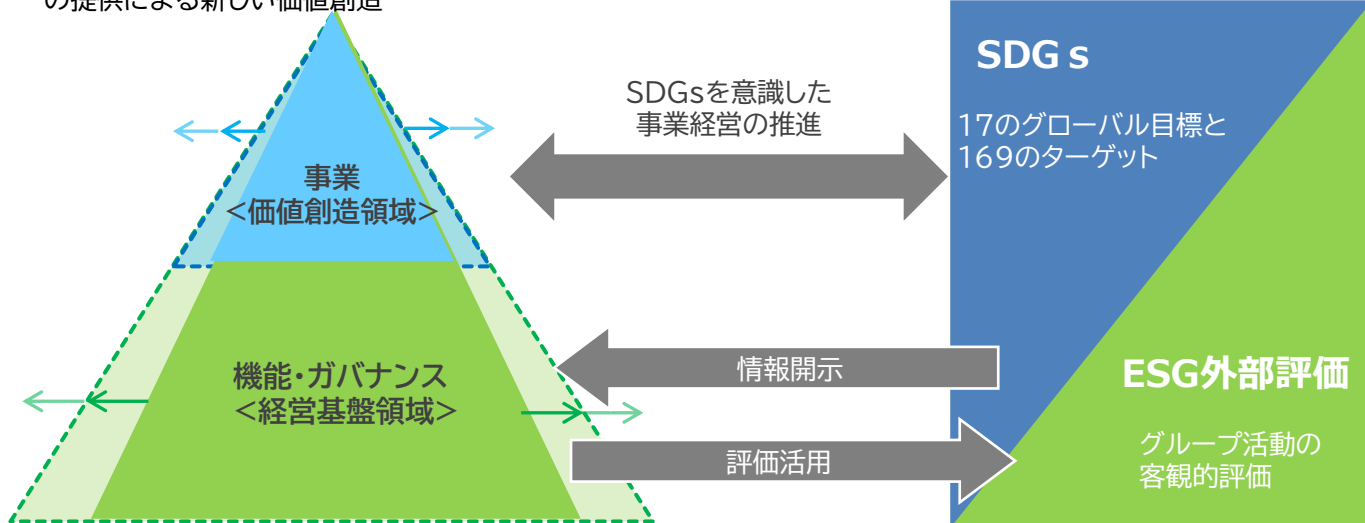
“個性と技術を活かし合い、
社会課題の解決に挑みつづける。”

KOBELCOの3つの約束

KOBELCOの6つの誓い

取り組むべき重要課題

- 本業を通じて解決していく社会課題
- ・ 研究開発・モノづくりを通じた製品・サービスの提供による新しい価値創造



調達における重要課題: 責任あるサプライチェーンの構築

課題への姿勢を対外に公表 = 「CSR調達基本方針」

- グローバルサプライチェーンの**責任ある一員**であることを表明
- サプライヤーの皆様に対し**理解と実践をお願いする事項**を明確化
- サプライヤーの皆様と**協働して課題解決に取り組む姿勢**を宣言

お取引先様へのお願い事項

1. 法令遵守	6. 品質・安全性
2. 人権・労働	7. 情報セキュリティ
3. 安全衛生	8. 事業継続計画
4. 環境	9. 社会貢献
5. 公正取引・倫理	

背景：これまでの活動

神戸製鋼所では、2020年9月に「調達基本方針」及び「お取引先様へのお願い」を策定・公表し、2021年9月には、「お取引先の皆様への説明動画」を配信してきた。
今般、これらの対応を整理し、新たに「CSR調達基本方針」として確立し、本年9月にHP上で公表した（日本語版、英語版）。

<2020年度>

- 「調達基本方針」
- 「お取引先様へのお願い事項」

を策定・周知

→HPに掲載

<2021年度>

「お取引先の皆様への説明動画」を配信

→HPに掲載

<2022年度>

- 「CSRアンケート」を実施
→ESGデータブックに結果を掲載（P.87～P.88）
- 「CSR調達基本方針」を周知
→22年9月にHPに掲載

ii .CSR調達基本方針の概要

- 本基本方針の全体構成と考え方は以下の通り。「前文、基本的な考え方、推進体制」、及び「対応方針」に、2020年9月に既に公表の“調達基本方針”、“お取引先様へのお願い”を組み込んだもの。「対応方針」の中でも赤文字の6点が主な変化点。

全体構成	考え方	
前文	◆ 大前提としてグループ企業理念からスタートしていることを示す	
1. 基本的な考え方	◆ ‘20年9月公表の“調達基本方針”を組み込む ◆ グループ企業理念との関連性、グローバルサプライチェーンの責任ある一員として自覚する旨、及び サプライチェーン上の課題を把握し対応することが事業継続に繋がると認識している旨を明示	
2. 推進体制	◆ 弊社サステナビリティ推進委員会を中心とした推進体制を明示	
3. 対応方針	①お取引先様へのお願い	◆ ‘20年9月公表の“お取引先様へのお願い”をガイドラインとして明示 ◆ お取引先の皆様の仕入先に対しても周知徹底いただくこと
	②“お取引先様へのお願い”の遵守と改善支援	◆ 当社として改善支援を行うこと ◆ 必要に応じてお取引先の皆様を訪問すること ◆ 改善されない場合の取引見直しの可能性
	③情報開示	◆ 情報開示の基本姿勢を明示
	④お取引先の皆様との協働	◆ お取引先の皆様と共に課題把握に努めながら協働して各種取組みを行うこと
	⑤当社社員・グループ会社・関連会社との協働	◆ 「社員」と「グループ会社・関連会社」へのエンゲージメントの考え方を明示

前文

- ◆ KOBELCOグループは、グループ企業理念として掲げている「KOBELCOが実現したい未来」である「安全・安心で豊かな暮らしの中で、今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。」をステークホルダーの皆様と共に実現するために、「個性と技術を活かし合い、社会課題の解決に挑みつつける。」という「KOBELCOの使命・存在意義」を果たします。

**1. 基本的な考え方
(調達基本方針)**

◆ KOBELCOグループの調達部署は、次の調達基本方針に基づき活動してまいります。

1. 法令その他の社会的規範の遵守

- 購買業務を行うに当たっては、国内外の関係する法令等・社会的規範・社内規程を遵守する。
- 調達担当者は、いかなる取引先とも個人的な利害関係を持たない。
- 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、一切の関係を遮断し、違法・不当な要求には応じない。

2. 公平・公正な取引

- 購買業務を行うに当たっては、国内外問わず広く門戸を開放し、品質・納期・価格等合理的な基準に基づいて行う。

3. 調達を通じた地球環境との共存

- 購買業務を行うに当たっては、社会情勢および社会的要請に留意し、環境保全、資源保護等に十分配慮する。

4. 取引先とのパートナーシップの強化

- 取引先をパートナーと位置付け、信頼関係を築くことで、お互いの発展を目指していく。

5. 機密情報の管理

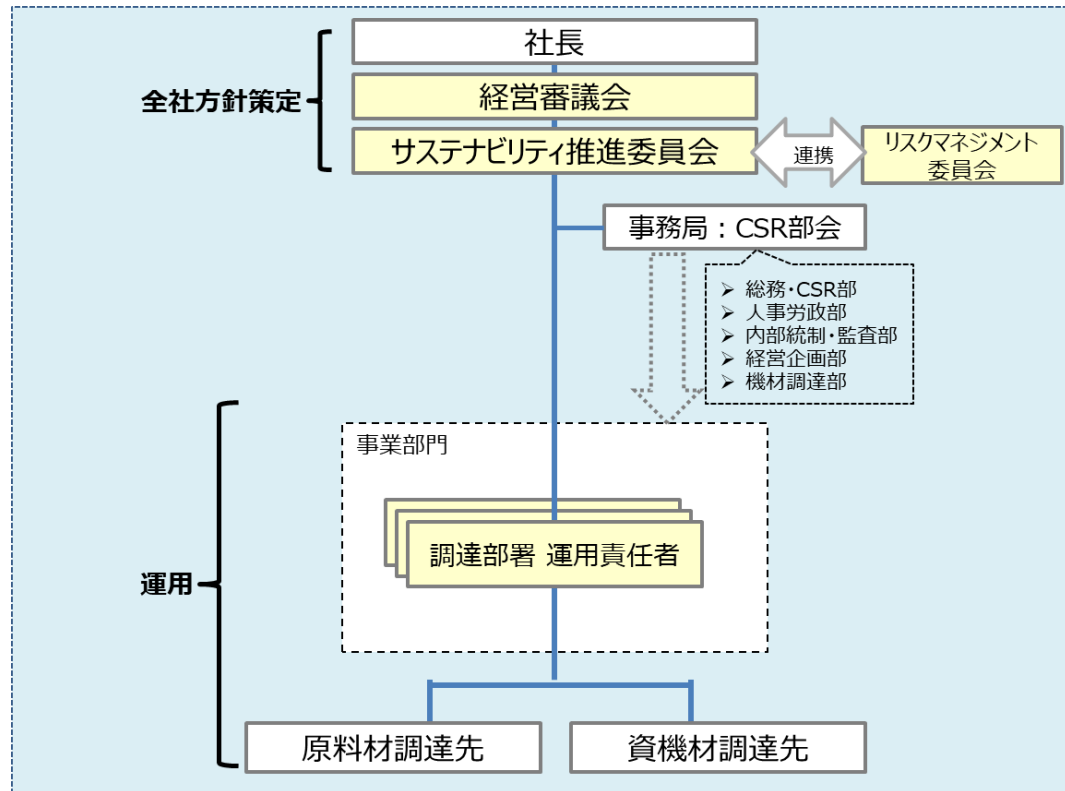
- 購買業務を通じて知り得た情報や個人情報等を厳格に管理し、許容された目的の範囲外には使用しない。

1. 基本的な考え方 (調達基本方針 以外)

- ◆ KOBELCOグループは、グループ企業理念に掲げている「KOBELCOが実現したい未来」をステークホルダーの皆様と共に実現するために、責任あるサプライチェーン構築に向けた取組みを推進します。
- ◆ KOBELCOグループは、世界中で多様な事業を展開する中で、多様な原料・資機材を調達の上、技術・製品・サービスを提供し、サプライチェーンを構築しています。
グローバルサプライチェーンの責任ある一員として、**自社のみならずサプライチェーンも含めた人権、環境問題等の課題解決への取組みが求められていることを認識**しています。
- ◆ KOBELCOグループは、責任あるサプライチェーン構築に向けた**基本方針**を策定し、お取引先の皆様をはじめとする**ステークホルダーの皆様と共有**します。
原材料・資機材調達におけるサプライチェーン上のリスクを認識し、関係するサプライチェーン上の課題把握に努めながら社会的責任を果たすとともに製品・サービス等の安定供給を行います。

2. 推進体制

- ◆ 推進体制としては、全社方針について、サステナビリティ推進委員会から経営審議会へ提言し、審議の上で合意形成を図り、各事業部門における調達部署の運用責任者を中心とする体制を整備します。
- ◆ また、リスク管理の観点からリスクマネジメント委員会との連携も図り、執行体制を強化します。
- ◆ 2022年4月1日付の体制は以下の通りです。



3. 対応方針

① お取引先様へのお願い：

◆ KOBELCOグループは、お取引先の皆様に対して、以下に掲げる項目の理解と実践を求め、協働して責任あるサプライチェーンの構築を目指します。

◆ お取引先の皆様の仕入先に対しても、以下に掲げる項目の理解と実践を求めるために、周知徹底いただくように要請します。

1.法令遵守	(1-1)法令遵守		
2.人権・労働	(2-1)強制的な労働の禁止 (2-2)児童労働の禁止、若年労働者への配慮 (2-3)労働時間への配慮 (2-4)適切な賃金と手当 (2-5)非人道的な扱いの禁止 (2-6)差別の禁止 (2-7)結社の自由、団体交渉権	5.公正取引・倫理	(5-1)腐敗防止 (5-2)不当又は不適切な利益・便益の供与及び受領の禁止 (5-3)適切な情報開示 (5-4)知的財産の尊重 (5-5)公正なビジネスの遂行 (5-6)通報者の保護 (5-7)紛争鉱物の使用禁止
3.安全衛生	(3-1)労働安全 (3-2)緊急時への備え (3-3)労働災害・労働疾病 (3-4)産業衛生 (3-5)身体的負荷のかかる作業への配慮 (3-6)機械装置の安全対策 (3-7)施設の安全衛生 (3-8)安全衛生のコミュニケーション (3-9)労働者の健康管理	6.品質・安全性	(6-1)製品安全性の確保 (6-2)品質マネジメントシステムの構築、運用
4.環境	(4-1)環境許可と報告 (4-2)エネルギー消費および温室効果ガスの排出削減 (4-3)大気への排出 (4-4)水の管理 (4-5)資源の有効活用と廃棄物管理 (4-6)化学物質管理 (4-7)製品含有化学物質の管理	7.情報セキュリティ	(7-1)サイバー攻撃に対する防御 (7-2)個人情報の保護 (7-3)機密情報の漏洩防止
		8.事業継続計画	(8-1)事業継続計画の策定と準備
		9.社会貢献	(9-1)社会・地域への貢献

※実際は9項目の全文を記載

3. 対応方針（続き）

② “お取引様へのお願い”の遵守と改善支援：

万一「お取引先様へのお願い」を遵守されていないお取引先様があった場合は、以下の事項を行うことがあります。

- ◆ 改善が必要とされたお取引先の皆様に対しては、改善支援を行いながら経過を確認します。
- ◆ 必要に応じて、第三者の監査の形式を含め、お取引先の皆様に訪問させていただく場合がございます。
- ◆ 万が一、適切な改善の取り組みがなされない場合には、お取引の見直しをさせていただくこともございます。

3. 対応方針（続き）

③ **情報開示：**

◆ 関連する情報について適時・適切な情報開示を行います。

④ **お取引先の皆様との協働：**

◆ 責任あるサプライチェーン構築に向けたCSR調達基本方針をお取引先の皆様とも共有し、課題把握に努めながら協働して各種取り組みを行います。

⑤ **弊社社員・グループ会社・関連会社との協働：**

◆ **弊社社員：**

サプライチェーンにおける環境・人権問題等の重要性や当社基本方針について、社員の意識啓発・研修等を継続的に実施していきます。

◆ **グループ会社・関連会社：**

親会社と同様にグループ会社・関連会社のサプライチェーンマネジメントも強化すべく、サプライチェーンにおける環境・人権問題等の重要性や当社基本方針について、意識啓発・研修等を継続的に実施していきます。

1. はじめに

2. CSR調達基本方針

i. 背景

ii. CSR調達基本方針の内容

3. ご連絡事項

CSR調達基本方針の閲覧先

HPアドレス：<https://www.kobelco.co.jp/sustainability/procurement.html>

当社HP→サステナビリティ→社会「調達」

KOBELCO

☰ ナビゲーションメニュー

調達

目次

- > 1. CSR調達基本方針
 - ▶ 調達基本方針 (※『CSR調達基本方針』の一部)
 - ▶ お取引先様へのお願い (同上)
- > 2. お取引先の皆様への説明動画

1. CSR調達基本方針

> [CSR調達基本方針](#) 

2022年6月10日

CSR 調達基本方針

KOBELCO グループは、グループ企業理念として掲げている「KOBELCO が実現したい未来」である「安全・安心で豊かな暮らしの中で、今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。」をステークホルダーの皆様と共に実現するために、「個性と技術を活かし合い、社会課題の解決に挑みつづける。」という「KOBELCO の使命・存在意義」を果たします。

1. 基本的な考え方

- (1) KOBELCO グループの調達部署は、次の調達基本方針に基づき活動してまいります。
 - ① 法令その他の社会的規範の遵守
 - 1) 購買業務を行うに当たっては、国内外の関係する法令等・社会的規範・社内規程を遵守する。
 - 2) 調達担当者は、いかなる取引先とも個人的な利害関係を持たない。
 - 3) 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、

ご清聴いただき
誠にありがとうございました